

(令和4年度第2次補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (都道府県分) 個票

自治体名 **和歌山県** (都道府県: **和歌山県**)
 本事業の担当部局名 **福祉保健部 福祉政策局 子ども未来課**

事業メニュー		地域結婚支援重点推進事業				
区分		重点メニュー				
関連事業メニュー		1.2.1 自治体間連携を伴う結婚支援の取組				
個別事業名		わかやま婚活応援隊強化事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続		
実施期間		交付決定日 ~	令和6年3月31日	事業開始年度	H25	年度
対象経費支出予定額 ※(注)1		円				
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2		<p>(地域における実情と課題及び本個別事業の位置付け)</p> <p><地域における実情と課題> 本県の合計特殊出生率は令和3年1.43(令和2年1.43)で、全国平均を上回っているが人口維持に必要とされる2.07には遠く及ばず、出生数は減少傾向にある。また、コロナ禍により婚姻数が大幅に減少しており、今後出生数は更に減少する見込みである。 少子化対策としては、結婚支援事業や第2子以降の保育料の無償化、特定不妊治療の上乗せ助成などの様々な支援策を講じているが、今後親となる20代、30代の世代が減少する中、行政だけでなく、地域や企業、これから親世代となっていく学生も含めた社会全体での子育てをしやすい環境を整えていく施策を進める必要がある。</p> <p><本個別事業の位置付け> 1. 出会い・結婚の支援 ①県主催婚活イベントやわかやま婚活応援隊等による出会いの提供 ②結婚・子育てについての啓発 2. 妊娠・出産・子育ての支援 ①妊娠・出産・子育てまで一貫した伴走支援 ②子育て世帯の経済的負担の軽減 ③安心して子どもを育てられる環境の整備 ④子育てしやすい職場環境づくり など、出会い・結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目ない支援に取り組んでおり、本個別事業は上記1の①に位置づけられる。 本個別事業においては、結婚支援事業の基盤である個人参加型イベントの回数増や民間主催イベントへの後押しなどの拡充やコロナ禍でも参加できる仕組み作りを行い、出会いの機会の場を増加させ若者の結婚の希望をかなえることで、少子化対策に資する取り組みである。</p>				
		<p>(本個別事業における現状と課題)</p> <p>県が認定した民間企業・商店からなる「わかやま婚活応援隊」が主催するイベント回数はH30以前とR1年を比較すると半減しており、制度自体の広報不足や応援隊自身が実施するイベント内容もマンネリ化しており行き詰まりを感じるという声が聞かれたため、メルマガシステムを導入して県での広報協力体制を強化したほか、イベント内容等への助言が行える講師派遣事業も実施。 R4年度では市町村と共同して募集・研修を実施するほか、講師派遣事業についても派遣講師の種類を増やしたが、講師派遣については応募が少なく余り活用されていない状況。</p>				
		<p>(課題への対応)</p> <p>市町村と共同して募集・研修は継続して実施するほか、講師派遣事業について要望の多かった司会者派遣も項目に追加し、後方支援体制の一層の強化を図る。</p>				
個別事業の	番号	項目	内容		ステップアップ	KPI設定
	1	婚活応援隊の育成、支援	ボランティヤ(個人)や応援隊(企業、団体等)に対し、結婚支援を行うためのスキルアップ等を目的とした研修を実施。 ・開催回数:2回 ・参加人数:各回20人			○
2	講師派遣の実施	独自イベント開催の手法等を学ぶための講師や、イベント前スキルアップセミナーを実施するための講師のほか、イベント当日の司会進行も行うことができる講師(※イベント当日に係る費用はイベント主催者が負担)を派遣 ・派遣予定回数:10回		○	○	

内容 ※(注)3	3	他自治体との連携	事業実施に当たっては、和歌山市(本交付金活用)をはじめとした市町村と連携して行う。 (下記「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」のとおり) また、下記の通り協議会の設置、運営を行う。 協議会名: 和歌山県地域少子化対策会議 構成メンバー: 全市町村の少子化対策担当課室の担当者 実施予定時期: 5or6月、9月、12or1月 協議内容: 地域の実情・課題や取組を共有し、少子化対策に関する地域における今後の取組全般(本交付金事業実施に係る評価検討及び結婚新生活支援事業の実施割合を面的に広げるための取組を含む)を総括的に協議する。		
	【次年度以降に向けた事業の方向性】 コロナ禍により形骸化してしまった人と人との繋がりを活用した出会いの場を再構築するため、市町村と共同して体制の立て直しを図りつつ、側面的支援を強化することでコロナ禍前のような活動を目指す。				
	【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】 山形県飯豊町 いい出会いサポートセンター事業				
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4	KPI項目		単位	目標値	現状値
	合計特殊出生率			2	1.43
					(R3時点)
参考指標 ※(注)5	項目		単位	直近の実績	
	合計特殊出生率			1.43 (令和3年)	
	婚姻件数		件	3,264 (令和3年)	
	婚姻率			3.6 (令和3年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値
	(アウトプット)				※R4.12月時点
	・ボランティア、応援隊の登録数		件	200	156
	・研修会の参加人数		人	40	18
	・上記達成率		%	80	45
	・講師派遣の依頼件数		件	10	1
	(アウトカム)				
	研修参加者の満足度		%	80	-
	講師派遣の利用者の満足度		%	80	R5年3月調査予定
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	【県の役割】 研修や講師派遣等、育成面での支援を実施。 【市町村の役割】 ボランティア(個人)の新規募集・登録・活動の場の提供を実施。 なお、周知活動については共同して実施する。				
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	自治体だけではなく、民間事業者が独自に行う結婚支援を支援することで、全県的な結婚支援体制を構築する				